

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 153-8518
 住 所 東京都目黒区東山3-8-1
 氏 名 東急バス株式会社 印
 取締役社長 犬飼 徳比児
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東急バス株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市高津区溝口5-14-1		
該当する事業者 の要件	<input type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	43	道路旅客運送業
主たる事業 の内容	一般乗合旅客自動車運送事業		
事業者の規模	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		k l
	<input checked="" type="checkbox"/> 自動車の台数		215 台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	総務部コンプライアンス推進課
		所在地	東京都目黒区東山3-8-1
		電話番号	03(6412)0109
		FAX番号	03(6412)0205
		メールアドレス	0
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成23年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号および第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号および第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号および第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号および第3号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

2 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第3号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 9,544 t-CO ₂ (調) 9,544	(実) 9,019 t-CO ₂ (調) 9,019	(実) 8,914 t-CO ₂ (調) 8,914	(実) t-CO ₂ (調) t-CO ₂	(実) 9,398 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) 5.5 % (調) 5.5 %	(実) 6.6 % (調) 6.6 %	(実) % (調) %	(実) 1.5 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量					単位
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の		0			
削減率		%	%	%	%

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	平成22年9月末に川崎営業所(中原区)を閉鎖、当該営業所の車両の一部を隣接する横浜市内の営業所に移管したため、市内に本拠の位置を有する車両の燃料使用量が前年と比較して減少したことで、温室効果ガス排出量も大きく減少する要因となった。
第2年度	通年で市内2営業所の稼働となり、夏期に実施したサマータイム対応臨時ダイヤの運行等により所別の燃料使用量は対前年で増加したものの、市全体の使用量で見ると平成22年9月に廃止された川崎営業所が稼働していた第1年度の数値(3営業所分)と比較して小さくなったため、温室効果ガス排出量も減少する結果となった。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

(記載事項なし)

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備 ○車両の保安全管理 ○エネルギー使用量等の把握 ○エコドライブの実施 ○低燃費車等の導入 ○エコドライブ管理システムの導入
	第1年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備…温室効果ガス排出量の把握・分析を行い、情報を共有した。 ○車両の保安全管理…法定点検のほかに環境に配慮した自主的な整備・点検を実施した。 ○エネルギー使用量等の把握…走行距離・燃料使用量を毎月集計し、燃費や対前年比較の分析を行った。 ○エコドライブの実施…エコドライブ強化運動を年2回(6月・11月)全社的に展開した。 ○低燃費車等の導入…平成27年度燃費基準達成車を導入した。 ○エコドライブ管理システムの導入…デジタルタコグラフで運転特性を記録し、環境に配慮した運転の指導・管理を行った。
	第2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○推進体制の整備…管理マニュアルを作成した。 ○エコドライブの実施…車両メーカーが開催する「省エネ運転講習会」に参加した。 ○低燃費車等の導入…平成27年度燃費基準達成車を導入した。 (平成23年度は6台導入)
	第3年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	(記載事項なし)
第1年度	(記載事項なし)
第2年度	(記載事項なし)
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	(記載事項なし)
第1年度	(記載事項なし)
第2年度	(記載事項なし)
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

イ 第3号該当者等

(実)	8,914	t-CO ₂
(調)	8,914	

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--

7 自動車の使用状況一覧（第3号該当者等）

(1) 車両の種別

		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
		台数	台数	台数	台数
総 数		232 台	216 台	215 台	台
内 訳	普通貨物自動車	12 台	10 台	10 台	台
	小型貨物自動車	0 台	2 台	2 台	台
	大型バス	219 台	199 台	199 台	台
	マイクロバス	0 台	1 台	1 台	台
	乗用自動車	1 台	4 台	3 台	台
	特種自動車	0 台	0 台	0 台	台

(2) 燃料の種別

		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	最新年度
		台数	台数	台数	台数	比率
総 数		232 台	216 台	215 台	台	100.0 %
内 訳	電気自動車	0 台	0 台	0 台	台	- %
	天然ガス自動車	0 台	0 台	0 台	台	- %
	メタノール自動車	0 台	0 台	0 台	台	- %
	ハイブリッド自動車	0 台	0 台	0 台	台	- %
	プラグインハイブリッド自動車	0 台	0 台	0 台	台	- %
	燃料電池自動車	0 台	0 台	0 台	台	- %
	水素自動車	0 台	0 台	0 台	台	- %
	ガソリン自動車 (ハイブリッド [*] 除く)	13 台	16 台	15 台	台	7 %
	ディーゼル自動車 (ハイブリッド [*] 除く)	219 台	200 台	200 台	台	93 %
	LPGガス自動車	0 台	0 台	0 台	台	- %
	その他	0 台	0 台	0 台	台	- %
うち低燃費車 ^{**} の台数	59 台	70 台	67 台	台	31.2 %	

※ 低燃費車とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」に基づき定められた燃費基準（トップランナー基準）を早期達成している自動車をいう。